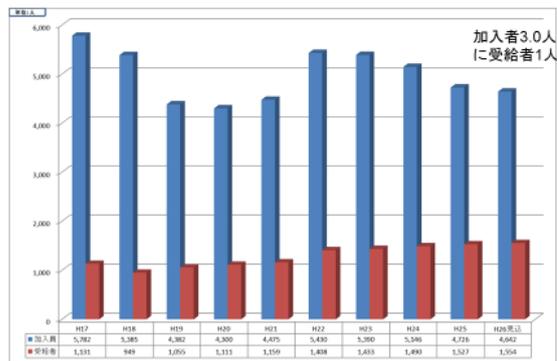


2014 年度ファイザー企業年金基金概況—ファイザー企業年金基金常務理事 平井重信氏



年金受給の成熟度を示すとされている加入者と受給者の比率は、ファイザーの企業年金では若干受給者の比率が高くなってきているが、ほぼ加入者 3.0 人に対して受給者 1 人の割合であり、健全であるとのことでした<以下のスライド参照>。

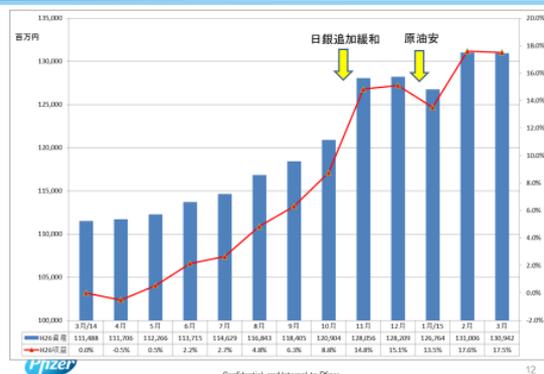
加入者と受給者



Confidential and Internal to Pfizer

基金の資産運用収益は長期的に給付資金を確保していくために大変重要な要素になります。投資環境やマネージャー（委託運用機関）の状況も大きく変化しますので、およそ3年程度の期間で見直しを行っています。H26年度は株高と円安などにより好調に推移したとのことでした<以下のスライド参照>。

H26年度資産と累積実績推移



資産運用状況を 5 年平均で見るとすべての年度で他企業基金の平均を上回っており<スライド参照>、これを 10 年平均で見るとさらに広がっているとのことでした。

運用実績推移(5年平均)



なお、5 年平均収益率で全国企業中トップであるとして専門誌に紹介されました<以下のスライド参照>。

5年平均収益率で全国トップ

ファイザー企業年金基金、平均収益率11%で全国トップ！

成績優秀基金として専門誌で紹介

昨年末に行われた全国の企業年金基金を対象とした「日経企業年金実況調査」の結果、ファイザー企業年金基金はランキングで上位となり、業界専門誌でその取り組みについて紹介されました。廣野 雄三さん(ファイザー企業年金基金)からのコメントです。

◆ファイザー企業年金基金とは

ファイザー企業年金基金は、社員の退職金の一つである確定給付年金(DB)の運営・管理をメインに担っている組織です。基金では、会社から預かった社員の退職金資産を独自で資産運用しています。その他、確定拠出年金(DC)の管理、退職金関連セミナー、社友会(ファイザーOB/OG会)事務局なども担当しています。



ファイザー企業年金基金の皆さんです

◆過去5年間の平均収益率で全国1位！

昨年末に行われた全国の企業年金基金を対象とした「日経企業年金実況調査」の結果、ファイザー企業年金基金は、資産運用担当者において優秀基金となりました。調査では、資産総額、過去1年間の収益率、過去5年間の平均収益率などの分野毎でランキングが発表されました。ファイザー企業年金基金は「過去5年平均収益率」の分野において、「10.98%」で全国1位となりました。これも、業界専門誌「年金情報」にファイザー企業年金基金の資産運用のプラン内容や考え方が紹介されました。

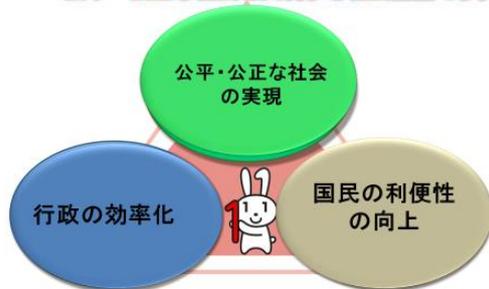


Confidential and Internal to Pfizer

18

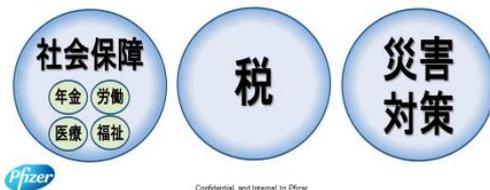
最後に基金からのお知らせとして、マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の解説とその実施意義について説明がありました。マイナンバー制度は行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤であるとのこと<以下のスライド参照>。

マイナンバー制度は、
行政を効率化し、国民の利便性を高め、
公平・公正な社会を実現する社会基盤です。



平成 27 年 10 月以降、国民の一人一人にマイナンバー（個人番号）が通知されます。マイナンバーは社会保障、税、災害対策等の行政手続きに必要となりますし、一生使用するものですので大切にすることの説明がありました<以下のスライド参照>。

平成28年1月から、
社会保障、税、災害対策の行政手続きで
マイナンバーが必要になります。



以上
